

産業建設委員会

令和5年12月1日(金)
全員協議会終了後
時分～時分
第3委員会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【執行部】(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、永見水産振興課長
(都市建設部) 戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長

【事務局】大下書記

【議題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 12月13日(水)の委員会審査日程等について
- 3 その他
 - (1) 沖合底曳網漁業の新船建造取組支援について 【水産振興課】
 - (2) 【要望書】「主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進方についての要望について」
(委員会に配付)
- 4 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて (委員間で協議)
- 5 取組課題について (委員間で協議)

令和5年12月13日(水)10:00 開催の産業建設委員会における予定議題

【予定議題】

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第113号 文書主義の徹底をし、ミスの再発防止をという陳情について
- 2 議案第66号 浜田市石州和紙会館条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第67号 浜田市国民宿舍千畳苑条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第68号 浜田市美又温泉国民保養センター条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第69号 浜田市旭温泉あさひ荘条例の一部を改正する条例について
- 6 議案第70号 浜田市地域定住住宅条例の一部を改正する条例について
- 7 議案第72号 指定管理者の指定について (浜田市天狗石農村公園)
- 8 議案第73号 指定管理者の指定について (山陰浜田港公設市場)
- 9 議案第74号 指定管理者の指定について (浜田市木田暮らしの学校)
- 10 同意第5号 浜田市農業委員会委員の任命について
- 11 所管事務調査
- 12 執行部報告事項
- 13 その他
- 14 取組課題について (委員間で協議)

陳情番号	113
付託先委員会	産業建設委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●文書主義の徹底をし、ミスの再発防止を

はまだ応援チケットの追加販売で、最終日に市民の間で大騒ぎになった。

この原因、対処、対策について、商工会議所、観光協会、商工労働課に公文書開示を求めたが、まったく記録がなかった。

軽微なもの以外は、文書で残すことになっているはずなのに、どうなっているのか？

対策を立ててないため（記録にない）再発の可能性が否めない。

これらの事実を書面で残し、対策を残すようにしてほしい。



沖合底曳網漁業の新船建造取組支援について

1 概要

現在、地元沖合底曳網漁業1船団が、国の「漁船リース事業」を活用し、新船建造に向けた取組を進めている。多額の建造費用となることから、造船所やリース元のJFサポート、漁業経営体が円滑に事業を進めて行けるよう、新船建造に対し県と市で経費の一部を支援する。

2 支援内容

- ・補助対象者：一般社団法人しまね水産業構造改革サポート
- ・補助内容：国の「漁船リース事業」対象経費の45%を上限に、市県で上乘せ補助を行う。
- ・補助額：5.87億円（内訳 市3.45億円、県2.41億円）
- ・財源：市負担分については「ふるさと応援基金」の活用を想定



3 スケジュール

	R5年度		R6年度				R7年度			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
沖底事業者							試験操業 6月~7月	操業開始 (R7.8~) リース料支払い		
JFサポート	建造着手 着手金	建造期間 (R7.5完了予定)					漁業者への貸与期間 (最長20年)			
浜田市	債務負担 (12月補正)			中間金		予算要求		↑ 予算執行		
島根県	債務負担 (12月補正)					予算要求		↓ 予算執行		

4 事業効果

- ・新船建造後30年間の操業を想定し、120億円(約4億円/年×30年)の水揚確保が見込まれる。
- ・より高鮮度の水産物が漁獲され、水産加工や鮮魚卸、小売、流通など地域経済活性化の波及効果が期待される。
- ・ふるさと寄附返礼品の約4割(金額ベース)を占めるノドグロを漁獲しているほか、カレイやアンコウなど返礼品上位の水産物も漁獲しており、地域経済への貢献度が高い。

5 事業費について

- ・令和7年度完成に向け、令和5年度中に建造に着手する必要があるため、円滑に事業を進めていくため債務負担行為の設定を令和5年12月議会で上程。
- ・島根県も12月議会で債務負担行為(2.41億)を設定。

番号	1	テーマ	合併処理施設維持管理に関する協定書の修繕費等見直しについての要望
氏名	ふくろじり たかし 袋 尻 孝		
内容	<p>1. 平成 10 年 6 月に締結した協定書は実情を反映していない。</p> <p>2. 協定書の土地所有者が負担する大規模な修繕費（積立金）の負担割合が按分負担は疑義があります。（按分→応分）</p> <p>3. 丙の土地所有者であっても都合により居住する事が出来ない場合はこの責を免除するのが妥当です。（協定書に記載するべきです）</p> <p>4. 甲が提示される長期計画策定書の丙の負担額が受益分の 1.5 倍です。</p> <p>5. 大規模な修繕費は設置者、所有者である甲、浜田市下水道事業者である乙が応分の負担をして丙の応分負担は下水道利用料金、他団地の利用料金を参考に検討すべきです</p>		
対応	福祉環境委員会で対応する。		

番号	2	テーマ	石見神楽をもっと発信してみたらどうか
氏名	ささき かずま 佐々木 一真		
内容	<p>コロナが落ち着きはじめて、県外の神楽公演依頼も増えてきましたが、まだまだ石見神楽を知っている人はとても少ないと思いますのでもっと石見神楽を発信して興味を持つ人を増やしてみたらどうでしょうか？興味を持つ人が増えれば浜田市への観光客が増えると思います。以前「日本石見神楽大会」で神楽に関する施設を考えていると、久保田市長が言われていましたが話は進んでいるのでしょうか？もし実現可能なら浜田市の良い観光スポットになると思います。また、ふるさと寄附の貯金が 25 億あり、その中の 7 億が石見神楽などの伝統芸能に使ってほしいという話を聞きました。そのお金を石見神楽の発展につながることにぜひ使っていただきたいです。</p>		
対応	浜田市議会石見神楽振興議員連盟で対応する。		

番号	3	テーマ	浜田市の子ども達の水産体験
氏名	えんどう ひろゆき 遠藤 祐之		
内容	<p>私たちが子供の頃は、生湯などに行ってサザエなどを取って食べていた。今の子供たちは海にサザエがいて、それを取って食べられるという事を知らない。（取ってはいけない）</p> <p>せめて鑑札などを販売して、海とふれ合う機会を作れないものか。</p>		
対応	産業建設委員会で対応する。		

番号	4	テーマ	多世代との意見交換の場づくりの必要性
氏名	みうら かける 三浦 走		
内容	<p>浜田市に住んでいて、もっと多世代との意見交換できる場が必要だと感じる。社会に対して自分なりの意見を持ち、積極的にそれを討論したり発表したりする場があれば、より広い視点で物事をとらえる力がつくと思う。</p> <p>多世代を意識することで、それぞれの世代が持つ考え方や知識、価値観を他の世代に共有することが出来る。それらは自分ひとりで獲得するのは難しいと思うので、多角的な視野を養うためにもこのような場づくりは必要であると思う。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	5		
氏名	しまだ れな 島田 怜奈 こばやし のぞみ 小林 希実 みやた ゆき 宮田 優希	テーマ	浜田市へのお願い「地域交流と食」
内容	<p>①地域の人たちが集まれる場所が欲しい。海士町あまマーレのような、遊ぶ子供、読書する大人、ご飯を食べる場所、物々交換できる場そういった場所。</p> <p>②学校給食の牛乳を選択性にしてほしい。診断書がないと飲まなくてよいという制度が疑問である</p> <p>③県立大学生や浜田の高校生と活動ができる場がほしい。せっかく浜田に大学があるのだから、全国から来たお兄さんお姉さんといろいろ話してみたい。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	6		
氏名	みうら めい 三浦 萌衣	テーマ	竹迫児童公園について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具について ・公園の時計設置について ・公園の駐車場について 		
対応	産業建設委員会で対応する。		

番号	7		
氏名	たなか そうま 田中 聡真	テーマ	浜田市のイベントを増やす
内容	浜田市は人口が少ないからイベントを増やし参加してもらい浜田に多くの人に来てもらえるようにしたい。浜田のことを多くの人に知ってもらおう。		
対応	産業建設委員会で取り上げ、所管委員会で実施している各種イベントについてはそれぞれで確認する。		

番号	9	テーマ	浜田市郷土資料館について
氏名	くしもと やまと 櫛本 和		
内容	<p>私は、令和4年12月より半年間 HAMADA 教育魅力化コンソーシアムが主催する、「ふるさと歴史探求プロジェクト・高校生学芸員」に参加し、浜田城・浜田城下町・外ノ浦について探究活動を行いました。私の研究テーマは「浜田城落城への道のり」です。史実にはない浜田城籠城戦を想定し、浜田城資料館や浜田市郷土資料館に展示されている文書や地図、当時の実際の手紙などの資料の調査、そしてフィールドワークを通じて、浜田の地形や建造物の意図、寺院などの配置などについて探究し、城下町・はまだについて考察しました。この探求の結果として、城下町・浜田が軍事都市として大変優れていることがわかりました。そのことで私は、自分の住んでいる浜田について誇りと愛着が一段と強くなりました。同時に、城下町としての浜田の歴史の面白さや意味を地域の方々にはもちろん、浜田を訪れる人々に知ってもらいたいと思うようになりました。探究活動の際に訪れた「浜田市郷土資料館」では年代ごとに展示する形式が採用されていて、非常に伝わりやすく理解しやすかったです。しかし、館内は狭く建てられてから60年が経過したという事もあり、老朽化が進んでいるようでした。まだ、展示できるものが存在するにもかかわらずできていないようでした。こういったことで私は「浜田市郷土資料館」の建替え案の推進を提案します。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	10	テーマ	浜田港を活用した新エネルギー基地構想について
氏名	ありの ゆうと 有野 夢叶		
内容	<p>2023年は政府のほうで「水素基本戦略」の改定といった新エネルギーに対して様々な動きがあった。また政府は水素産業に15兆円投資するなどの様々な支援も表明した。その流れを浜田市・浜田港にもってきて、浜田港を中心とした新エネルギー産業創出への提言を行う。</p>		
対応	福祉環境委員会及び産業建設委員会で対応する。		